

施設カルテ（評価シート）

古代蓮の里

施設番号 041

令和 5 .3.31時点

Ⅰ. 施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	古代蓮の里		
	代表所在地(地番又は住所)	小針2375-1	代表建築年度	H12 ( 2000 ) 年度
	所管課	都市計画課	構造・階層	RC・3階建
	大分類(類型)	スポーツ・レクリエーション系施設	経過年数	22 年
	中分類(機能)	レクリエーション施設・観光施設	敷地面積	140,000.00 m <sup>2</sup>
	配置形態・管理形態	単独 指定管理	延床面積	3,117.41 m <sup>2</sup>
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	一部借地
	借受面積(賃借の場合)	- m <sup>2</sup>	借地面積(借地の場合)	- m <sup>2</sup>
	避難所指定の有無	あり	駐車可能台数	498 台

Ⅱ. 施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある			
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)			
						歳出		当該施設	同一中分類平均
歳出合計						77,703 千円		18,999 千円	
内訳						人件費		0 千円	206 千円
						需用費		2,160 千円	1,197 千円
						委託料		0 千円	2,132 千円
						土地・建物賃借料		0 千円	0 千円
						工事請負費		7,751 千円	1,550 千円
						その他維持管理費		0 千円	0 千円
						指定管理料等		67,792 千円	13,914 千円
延床面積あたり(縦棒)						24,926 円		13,554 円	
利用者あたり(折線)						1,133 円		399 円	
						歳入		当該施設	同一中分類平均
歳入合計						0 千円		0 千円	
内訳						施設利用		0 千円	0 千円
						その他		0 千円	0 千円
						補助金等		0 千円	0 千円
延床面積あたり(縦棒)						0 円		0 円	
利用者あたり(折線)						0 円		0 円	
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】			
利用実績		当該施設		同一中分類平均					
児童・生徒・園児数		- 人		- 人					
学級数		- 組		- 組					
開館・提供日数		303 日		304 日					
年間延利用者数		68,557 人		32,812 人					
年間利用・給食件数		- 件		- 件					
資料数		- 点		- 点					
入居戸数		- 戸		- 戸					
利用者数(縦棒)		68,557 人		32,812 人					
1日あたり利用者数(折線)		220 人		109 人					
【利用状況の推移】						【歳入の推移】			
令和2年度 令和3年度 令和4年度						令和2年度 令和3年度 令和4年度			
凡例						凡例			
利用者数(縦棒)人		1日あたり利用者数(折線)人				当該施設	延床面積あたり	利用者あたり(折線)	
						分類平均	延床面積あたり	利用者あたり(折線)	

Ⅲ. 施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)																																			
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】																																			
<table><tr><th colspan="2">【当該施設の評価】</th><th>B1</th></tr><tr><th>区分</th><th>対応</th><th>費用対効果のとらえ方</th></tr><tr><td>A</td><td>継続</td><td>コストと利用度のバランスが良い</td></tr><tr><td>B1</td><td>コスト改善</td><td>コスト面の改善が必要</td></tr><tr><td>B2</td><td>利用度改善</td><td>利用度の改善が必要</td></tr><tr><td>C</td><td>見直し</td><td>コストと利用度のバランスが悪い</td></tr></table>			【当該施設の評価】		B1	区分	対応	費用対効果のとらえ方	A	継続	コストと利用度のバランスが良い	B1	コスト改善	コスト面の改善が必要	B2	利用度改善	利用度の改善が必要	C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い															
【当該施設の評価】		B1																																	
区分	対応	費用対効果のとらえ方																																	
A	継続	コストと利用度のバランスが良い																																	
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要																																	
B2	利用度改善	利用度の改善が必要																																	
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い																																	
凡例:  ... 当該施設  ... 比較対象(同一分類)の他施設																																			
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。																																			
■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】																																			
<table><tr><th colspan="2">【当該施設の評価】</th><th>C2</th></tr><tr><th>区分</th><th>対応</th><th>方向性の考え方</th></tr><tr><td>A</td><td>継続</td><td>現状維持・長寿命化を基本とする</td></tr><tr><td>B1</td><td>向上</td><td>施設性能の向上を検討する</td></tr><tr><td>B2</td><td>向上</td><td>費用対効果の向上を検討する</td></tr><tr><td>C1</td><td>改善</td><td>施設性能の改善を検討する</td></tr><tr><td>C2</td><td>改善</td><td>施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する</td></tr><tr><td>C3</td><td>改善</td><td>費用対効果の改善を検討する</td></tr><tr><td>D1</td><td>見直し</td><td>施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する</td></tr><tr><td>D2</td><td>見直し</td><td>費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する</td></tr><tr><td>E</td><td>要見直し</td><td>施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である</td></tr></table>			【当該施設の評価】		C2	区分	対応	方向性の考え方	A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする	B1	向上	施設性能の向上を検討する	B2	向上	費用対効果の向上を検討する	C1	改善	施設性能の改善を検討する	C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する	C3	改善	費用対効果の改善を検討する	D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する	D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する	E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である
【当該施設の評価】		C2																																	
区分	対応	方向性の考え方																																	
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする																																	
B1	向上	施設性能の向上を検討する																																	
B2	向上	費用対効果の向上を検討する																																	
C1	改善	施設性能の改善を検討する																																	
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する																																	
C3	改善	費用対効果の改善を検討する																																	
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する																																	
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する																																	
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である																																	
凡例:  ... 当該施設  ... 比較対象(同一分類)の他施設																																			
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。																																			

Ⅳ. 機能及び施設の現状と課題

■現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)

	機能(サービス)	施設(建物)
課 題	当市が誇る観光名所のひとつ。会館の入場料、売店売り上げ、飲食店の売り上げが見込める。また、イベントが多く、毎年多くの来場者が見込める。	部分的に老朽化が進んでいる。
対応方針	入場者数も右肩上がりである。施設の長寿命化を図り、軽微な補修や更新等を行っていく。	長寿命化計画等を検討する。

# 施設カルテ（調査票）

古代蓮の里

令和 5 .3.31時点

## I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称	古代蓮の里		会計名	普通会計				
	施設番号	041		カルテ番号	143-016030-01-079				
	所在地（地番又は住所）	小針2375-1		所管課	都市計画課				
	大分類	ｽﾎｰﾑ・ﾘｸﾘｰｼｮﾝ系施設		中分類	ﾘｸﾘｰｼｮﾝ施設・観光施設				
	延床面積施設計	3,117.41	㎡	敷地面積	140,000.00	㎡			
	建物所有状況	市所有		土地所有状況	一部借地				
	うち借受建物面積		㎡	うち借地面積		㎡			
	小学校区	太田西小学校通学区域		中学校区	太田中学校通学区域				
	管理形態	指定管理		配置形態	単独				
	指定管理・委託先名	公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団							
	複合・併設の状況								
避難所指定	あり		駐車可能台数	498 台					
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	古代蓮会館		主体構造	RC	階数(地上・地下)	3	0
		大規模改修実施年度		延床面積	2,053.36	㎡	建築年度	2000	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年
	2	建物名	売店		主体構造	S	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	250.15	㎡	建築年度	2005	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	17	年
	3	建物名	トイレ		主体構造	その他	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	13.44	㎡	建築年度	1994	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	28	年
	4	建物名	シェルター		主体構造	S	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	108.00	㎡	建築年度	1996	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	26	年
	5	建物名	トイレ（A）		主体構造	RC	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	79.00	㎡	建築年度	1997	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	25	年
	6	建物名	トイレ（B）		主体構造	RC	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	41.69	㎡	建築年度	1997	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	25	年
	7	建物名	シェルター2		主体構造	S	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	144.00	㎡	建築年度	1999	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	23	年
	8	建物名	売店棟		主体構造	S	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	200.88	㎡	建築年度	2000	年度
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年
9	建物名	作業棟		主体構造	S	階数(地上・地下)	2	0	
	大規模改修実施年度		延床面積	194.83	㎡	建築年度	2000	年度	
	耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年	
10	建物名	倉庫		主体構造	S	階数(地上・地下)	1	0	
	大規模改修実施年度		延床面積	32.06	㎡	建築年度	2000	年度	
	耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	22	年	

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運営 人員	正規職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
人件費		0	0	0	0
需用費【光熱水費】		0	0	0	0
需用費【修繕料】		2,160	1,714	3,180	1,587
需用費【その他】		0	0	0	0
委託料（施設維持管理）		0	0	0	0
指定管理料		67,792	67,941	64,991	70,443
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		7,751	22,330	924	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		77,703	91,985	69,095	72,030
施設利用収入		0	0	0	0
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		0	0	0	0

財務 指 標	施設収支（①-②）	77,703	千円	収支割合（②÷①）	0.0	%
	利用者あたりコスト	1,133	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	24,926	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

### Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設 利用 状況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数	274	日	319	日
	年間延利用者数	27,194	人	90,364	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運営 情報	設置目的	主として市内に居住する者の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する。					
	設置根拠（設置条例等）	行田市都市公園条例					
	業務内容等	公園維持管理					
	目的外使用	無	目的外の内容				
	運営時間（平日）	：	～	：	運営時間（休日）	：	～
その他 制限 等	建物解体等の制限						
	その他特記事項						

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	68,557	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	303	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

### Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成19年度以降に修繕を行っていない、又は平成18年度以前に修繕を行っている。 2：平成19年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成18年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	会館階段室、展望室、展示室において漏水が発生し、タワー外壁は目地のコーキングが劣化。
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に工事を行っていない、又は平成4年度以前に工事をしている。 2：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	古代蓮会館展望室の天井から漏水している。
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がある。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
3			
	備考		
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	外気が35度以上になると、冷房能力が低下する。
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		2	
		備考	
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
5			
	備考	対象の施設ではない。	
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		3	
	備考	氷蓄熱空調設備を導入。	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		3	
	備考		

0



# 施設カルテ（調査票）

## I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
18 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
19 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
20 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	

## V 施設現況

施設写真

